

感染症発生状況

平成 30 年 6 月 21 日

幼稚園・保育園・認可外保育施設の長 様

盛岡市子ども未来部子育てあんしん課長

平成30年6月11日（月）～6月15日（金）の定点における発生状況をお知らせします。

定点23園の対象人数（定員）は2,716名です。

この週の延べ欠席者数 496名

1日あたりの延べ欠席者数 99名（前々週の1日あたりの延べ欠席者数 104名）

欠席理由の主なもの（下記の人数は延べ人数です。）

症状では **熱（207名）**，下痢・腹痛（56名），嘔気・嘔吐（54名），咳・鼻水（40名）

疾病ごと **胃腸炎（ノロウイルス18名・その他28名）**，おたふくかぜ（12名），気管支炎・肺炎（16名），溶連菌感染症（8名）

おたふくかぜ，溶連菌感染症，ノロウイルス，手足口病があります。インフルエンザは2週発生がなく，後2週（計4週）無ければ終息としたいです。

【症状別の発生状況】

胃腸炎 厨川，河北，盛南，都南地域で増加しました。

気管支炎・肺炎 厨川，河北，都南地域で減少。盛南，河南地域で増加しました。

おたふくかぜ 都南地域で減少。河北地域で増加しました。

溶連菌感染症 厨川，河北，盛南，河南，都南地域で減少しました。

【県の状況（6/4～6/10）】

咽頭結膜熱は，県央地区で警報値（定点当たり患者数3人）を超えました。本疾患は，アデノウイルスによる小児の感染症で、発熱，咽頭炎，結膜の充血などの症状がみられます。くしゃみ等の飛沫や，患者の目や顔に触れた手などを介して感染します。予防には，患者との濃厚接触やタオルの共用を避け，手洗い，うがいを行うことが重要です。

手足口病は先週よりも増加し，釜石地区で2週続けて警報値（同5人）を超えました。本疾患は，4歳までの幼児を中心として夏季に多くみられ，飛沫や接触のほか，便中に排出されたウイルスからも感染します。予防には，咽頭結膜熱と同様の対策をとりましょう。

感染性胃腸炎は，盛岡市，県央，中部及び大船渡地区で集団感染事例が報告され，大船渡地区では定点当たり患者数が10人を超えました。予防には，石けんと流水による十分な手洗いと，患者の吐物や便を塩素系薬剤で適切に処理することが重要です。

【盛岡市医師会（感染症対策委員会）】

質問・相談先 盛岡市医師会幼稚園保育園部会

電話 625-5311 ファックス 651-9822

【担当 盛岡市役所子育てあんしん課育成係 電話 613-8347（ダイヤル）ファックス 652-3424】